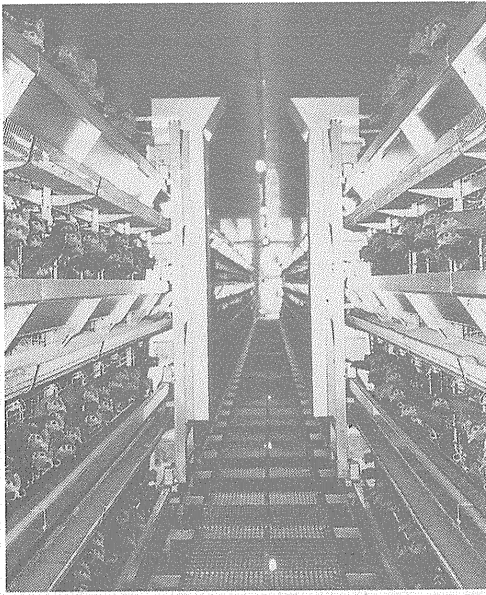


東洋システム エサならしに強い新 ホップパーフィーダー

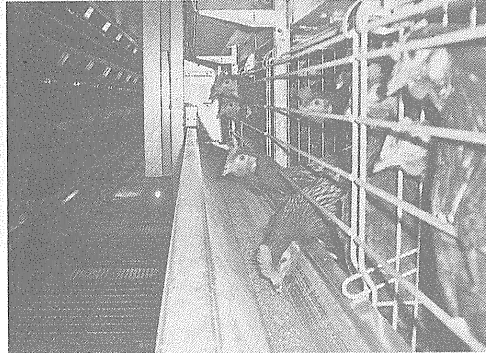
サルメット社との共同開発を強化

東洋システム(株)(安田 勝彦社長)本社・岐阜県各務原市金属団地九七(四)は、エサトラフ内に「レベルフィーダー」を開発し、残ったエサに、新しいエサをますきり原理で追加

し、きれいなエサならし場の生の声を大切にし、ドイツのサルメット社との連携を強化して各種のレイヤー設備を研究開発している。「レベルフィーダー」も両社で共同開



新開発のレベルフィーダー



実用的できれいなエサならし

入する。

同社では、エサトラフの先端をステップ形状とし、多段式ケージの管理をやりやすくしたステップトラフを仕様の中に加

発したもので、二号機と二号機を、昨年六月に中部地区の農場に納入し、フィールドでの実証データを集めてきた。この実証データを折り込んだ三号機を近く関西地区に納入する。

えている。「レベルフィーダー」はこのステップトラフを走行レールとして使用し、トータルケージシステムとしてのコストダウンも狙っている。製品に対するユーザーも、現場の生の声、要求を大切にして積極的に研究開発に取り組みたいと

るが、東洋システムでも、現場の生の声、要求を大切にして積極的に研究開発に取り組みたいと

らゆる業界で言われている。